

令和4年度第3回狭山市公民館運営審議会会議録

開催日時 令和5年3月16日(木) 午後2時から午後4時
開催場所 狭山市立中央公民館 第1ホール
出席者 中村委員、野口委員、齋藤委員、横江委員、高橋委員、小熊委員、大井川委員、折居委員、細田委員、名雲委員
欠席者 工藤委員、田口委員、小林委員、横田委員、平野委員
教育委員会 滝嶋教育長、内藤生涯学習部長、關根生涯学習部次長公民館統括教育総務課長兼務、石井社会教育課長
公民館 内出中央公民館長、高取富士見公民館長、田中入曾公民館長、池之谷水野公民館長、市之川堀兼公民館長、宮崎狭山台公民館長、北田新狭山公民館長、忍成奥富公民館長、田中柏原公民館長、峯岸広瀬公民館長、三浦水富公民館長、原
傍聴者 なし

1 開 会

2 委員長、教育長あいさつ

3 議 事

(1) 令和5年度公民館事業の概要について

資料に基づき事務局から説明

(質疑なし)

(2) 令和5年度狭山市公民館基本方針・重点目標(案)について

資料に基づき事務局から説明

(主な質疑)

委員 講座等運営事業費が減額されているが、公民館の講師謝礼金は十数年来金額が変わっていない。狭山市出身で高名な方が大勢いることも承知しているが、果たして今の基準で、全国的な優秀な先達をお呼びして学ぶことは可能なのか。教育委員会が本当に市民の学習・教養を高めようとしているならば、この基準では講座ができない。知人に全国的に有名な方もいるが、公民館の講師には紹介ができないという話も聞く。市民の学習教養を高めるためには、時には高名な方をお呼びすることも必要だと思うので、本気で検討してもらいたい。

また、基本方針5に掲げられている職員の資質の向上については、本当に必要なことなので、真剣に取り組んでももらいたい。

事務局 講師謝礼金は財政当局から基準が示されており、十数年変わっていないことも確かであるが、価値あるもの・必要なことに対しては、それなりの配分も考えていかなければならない。今の時世においては、基準が古いということも引き続き財政当局に訴えていきたい。

(3) 令和4年度各公民館重点目標及び事業計画(案)について

資料に基づき事務局から説明

(主な質疑)

委員 各公民館でスマートフォンの講座を企画しているが、受講者のものを使うのか、それとも貸してくれるのか

事務局 多くは、講師を担う業者が用意している。

委員 現代においては、情報格差解消のためにもすごく有用な講座だと思う。

委員 柏原公民館の農家体験について、実際に関わっている農家の方は何名ぐらいいるのか

事務局 協力いただいている農家は1名で、他に地域会議の方々がバックアップしており、柏原地区全体で取り組んでいる事業だと意識している。

委員 事業の継続性を考えると、厳しい状況だと思う。これからは、講師集団というか講師の養成もしておかないと事業が成り立たなくなってしまうのではないか。

事務局 我々も危機感を感じていることから、地区内のボランティアを募集して事業協力いただくことに、少しずつ取り組んでいる状況である。

委員 ボランティアに興味がない人に、ボランティアとして関わってもらうように働きかけることの中にも、学習というものは存在すると思う。大変良い事業であることから、事業継続を頑張ってください。

委員 奥富公民館で高校生に関わってもらいながら、カメラの教室を実施することは、すごく良いと思うが、講座回数が2回なのは、もったいないと思う。2回では相互交流までいかないのではないか。

事務局 現時点では2回としているが、実際には少ないと思っているので回数を増やすことも検討している。

委員 堀兼のデマンドバスの利用状況について教えて欲しい。

事務局 今年2月の状況は予約が283件、22日間の運航なので、1日13件程度であり、まだ増える余地はあると思う。公民館事業との関係では、2月に実施したICT講座の内容を、デマンドバスの予約方法とすることや、公民館の講座参加者やまちづくり事業への参加者の公民館への足として、定期的にデマンドバスを使用してもらおうよう働きかけるなど、今後も継続して協力をしていきたいと考えている。

(4) 令和3年度公民館等利用者アンケート調査結果について

資料に基づき事務局から説明

(主な質疑)

委員 このアンケート結果を、職員がどのように受け取めているのか気になった。

職員に対する評価の中で、接遇的なものは公務員として当然のものである。私はかつて、公民館の職員とは、利用者からみると、どういう存在なのかを入間地区の職員が集まって考えたことがある。公民館職員は教育公務員というものに属するものだと思うので、単なる受付等の接遇だけではないはずだ。職員研修の中で、今の水準としての公民館として、あるべき職員像を示せるように研究検討して欲しい。もっと利用者の関係が良くなると思う。

また、今の利用者は高齢者が多く、若い方の利用率が低いので、このままでは、公民館利用者がいなくなってしまう可能性があるので、ぜひ若い方に利用率向上のための研究をして欲しい。

さらに、各館の特徴というものがあまり見えないので、平準化せずに新たな公民館像というものを考え、もっと各公民館の個性を出して欲しい。

4 その他

- ・社会教育課に関する事業の紹介
 - ・博物館春季企画展「わくわくトリック3Dアート展」
 - ・さやま生涯学習サークル「体操・舞踊フェスティバル2023」

5 閉 会